

**平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定  
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会**

# 西目屋村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

### 《土のうの作成、配備》

台風に伴う水害発生時対応のため、土のうを作成し、村防災資器材庫に保管する。

作成個数：30袋

## 【平成30年度の主な取組み予定】

### 《水防訓練の実施》

西目屋村消防団及び弘前消防団第5方面団東目屋地区団合同による水防訓練の実施。

- ① 土のう作成
- ② 土のう積訓練

※ 訓練終了後、作成した土のうは各屯所等に配備



# 田舎館村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 浸水想定区域の見直しに伴う、ハザードマップの更新作業に着手。
- ・ 自主防災組織の新規設立をサポート。
- ・ 水防活動用土のうの作成、備蓄。

## 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険箇所の確認等（合同巡視）を実施する。
- ・ 水防団員の連絡体制の強化をはかる。



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 大鰐町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・平成29年9月24日（日）に大鰐町総合防災訓練にて関係機関と連携し、堤防からの越水及び越水危険個所を想定した水防工法を実施した。
- ・防災訓練で作成した土のうを、緊急時対応の為に役場に備蓄し、さらに水害時の迅速な対応の為、町内各消防団屯所にも備蓄した。

### ■水防訓練の実施状況（総合防災訓練内）



### ■役場倉庫内に土のうを常備



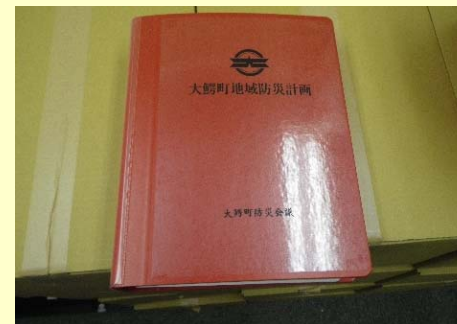
## 【平成29年度の主な取組み予定】

- ・平成30年9月24日（日）開催予定の大鰐町総合防災訓練で、平成29年度と同様に、関係機関と連携した水防訓練を実施し、各機関の連携や水防工法の確認を行う。
- ・平成28年度に修正した大鰐町地域防災計画に基づき、夜間・休日の急激な水位上昇を想定した避難勧告・指示等のタイミングに関するルール作りを策定する。

### ■平成29年度の防災訓練の様子



### ■平成28年度修正の大鰐町地域防災計画



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 中泊町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

### ●平成29年9月に職員を対象とした防災訓練の様子



### ●平成29年11月に小学生を対象とした防災宿泊体験の様子



## 【平成30年度の主な取組み予定】

### ●要配慮者利用施設の避難計画の作成に向けた支援

—目次—

1. 計画の構成	1
2. 計画の目的	3
3. 計画の適用範囲	3
4. 防災体制	4
4.1. 防災体制（洪水の場合）	4
4.2. 防災体制（内水の場合）	8
4.3. 防災体制（高潮の場合）	11
5. 情報収集及び伝達	14
6. 避難誘導	17
7. 避難の確保を図るための施設の整備	20
8. 防災教育及び訓練の実施	21
9. 自衛水防組織の業務に関する事項（自衛水防組織を設置する場合に限る。）	21

### 「〇〇〇〇（施設名）」における洪水時等の避難確保計画

#### 1. 計画の構成

《記載例》

<目次>

1. 計画の目的
2. 計画の適用範囲
3. 防災体制
  - 3.1. 防災体制
  - 3.2. 情報収集及び伝達
  - ⋮
  - 3.4. 避難の確保を図るための施設の整備
4. 内水時の対応
  - 4.1. 防災体制
  - 4.2. 情報収集及び伝達
  - ⋮
  - 4.4. 避難の確保を図るための施設の整備
5. 高潮時の対応
  - 5.1. 防災体制
  - 5.2. 情報収集及び伝達
  - ⋮
  - 5.4. 避難の確保を図るための施設の整備
6. 防災教育と訓練の実施
7. 自衛水防組織の業務に関する事項

#### 《解説及び留意事項》

- 水防法は、平成27年5月に一部改正され、洪水に係る浸水想定区域の前提を想定し得る最大規模の降雨に拡充するとともに、新たに想定し得る最大規模の内水・高潮に係る浸水想定区域制度が設けられた。
- すでに洪水に対する避難確保を作成している施設についても、新たに内水・高潮に係る浸水想定区域が指定され、市町村の地域防災計画に位置付けられた場合は、洪水に加え、内水・高潮それぞれに対応した避難確保計画を作成するよう努めなければならない。
- なお、避難確保計画に記載すべき事項は水防法施行規則（平成12年建設省令第44号）に定められている。



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 鶴田町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 非常用飲料水 555ml×2,400本を備蓄。  
（平成30年3月29日搬入）



## 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 避難所に災害時用公衆電話回線敷設予定。
- ・ 地域防災計画の見直し検討。



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 板柳町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】



【H29.6.18 五所川原市で行われた水防工法訓練に参加】



【救命胴衣 16着を整備】

## 【平成30年度の主な取組み予定】

【平成30年度も水防工法訓練に参加予定】

【平成30年度は助成金を活用し救命胴衣を200着整備】

【その他水防活動用資機材の整備・点検を継続的に実施】



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 藤崎町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 洪水ハザードマップ(岩木川水系)の作成
- ・ 災害時の防災拠点となる役場本庁舎機能強化工事の設計業務実施
- ・ 災害に備えた町防災訓練の実施
- ・ 自主防災組織育成事業補助金制定による活動強化の実施



町防災訓練での避難訓練  
(平成29年7月9日実施)

## 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 洪水ハザードマップ(十川・浪岡川)の作成及び町民向けの地域座談会の実施
- ・ 役場本庁舎機能強化工事の実施
- ・ 町防災訓練の継続実施
- ・ 防災士育成事業補助金活用による防災士の育成



洪水ハザードマップ策定に係る町内会との意見交換会  
(平成30年2月21日実施)



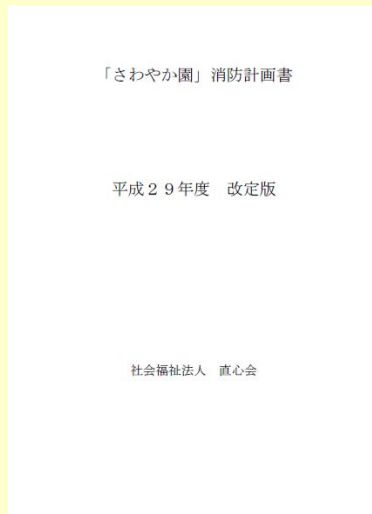
# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 平川市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 避難所設置・運営訓練を実施  
自主防災組織及び市職員を対象にHUG（避難所運営ゲーム）等を実施

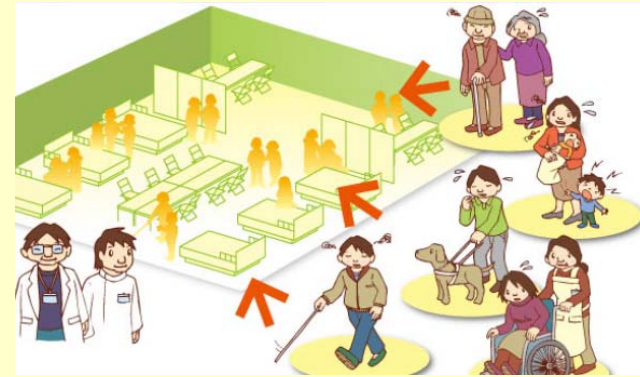


- ・ 要配慮者利用施設による避難計画作成をサポート



## 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 青森県総合防災訓練において、平川市避難所運営マニュアルに基づく発災初期～中期を想定した総合的避難所訓練を実施し、地域住民の意識高揚及び関係機関との連携を確認する。



平川市避難所運営マニュアル	目次
平成29年3月 平川市総務部総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 マニュアル作成の目的と趣旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 目的 ..... 1</li> <li>2 構成 ..... 1</li> </ul> </li> <li>第2章 実施すべき業務の全体像 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 避難所に関する基本的事項 ..... 3</li> <li>2 発災時の避難所 ..... 5</li> <li>3 発災時～発災時までの避難所 ..... 8</li> </ul> </li> <li>第3章 各利用者の業務（避難所～避難所） <ul style="list-style-type: none"> <li>1 総務班 ..... 12</li> <li>2 避難所管理班 ..... 21</li> <li>3 連絡班 ..... 24</li> <li>4 食料・物資班 ..... 28</li> <li>5 活動管理班 ..... 33</li> <li>6 保健・衛生班 ..... 35</li> <li>7 要配慮者支援班 ..... 43</li> <li>8 ボランティア班 ..... 48</li> <li>9 避難所の収容者・職域（活動班に共通） ..... 50</li> </ul> </li> </ul>



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 つがる市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を図った。
- ・ 青森県総合防災訓練において、地域住民や水防団による水防活動訓練を実施した。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施した（合同巡視）。
- ・ 消防指令システムの改修に伴い、水防団員に対する連絡体制を迅速・効率化した（携帯端末への情報配信）。



## 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を継続する。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施する（合同巡視）。
- ・ 水防工法訓練において水防団の水防技術の向上を図る。

# 五所川原市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

### ・市総合防災訓練の実施

10月1日に、大雨による河川の氾濫を想定した総合防災訓練を実施



※写真は平成29年度市総合防災訓練図上訓練の様子

### ・自主防災組織育成助成事業の実施

自主防災組織結成に向けた相談対応、組織結成に際しての防災活動に必要な資機材等整備費用の助成(※1)、自主防災組織を対象とした水害についての広報や勉強会(※2)を継続して実施

※1 平成29年度は新たに2団体が結成された。

※2 青森県県土整備部河川砂防課、西北地域県民局地域整備部河川砂防施設課と合同で実施した。

## 【平成30年度の主な取組み予定】

### ・防災拠点機能の整備

市役所新庁舎に災害対策本部室を整備



※写真は市役所新庁舎の全景イメージ

### ・Jアラート新型受信機の整備

新庁舎の移転に併せてJアラート受信機を新型へ移行

### ・コミュニティFMを活用した防災ラジオの整備

コミュニティFM放送局にJアラート自動起動装置を整備予定

※市内の指定避難所と福祉避難所へ、コミュニティFMから緊急の情報を受信すると自動起動する防災ラジオ受信機を設置予定

# 黒石市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

- 【平成29年度の主な実施内容】
- 市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部(上限50万円)を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を図った。
- 土嚢など災害時に必要となる物資の備蓄を行った。



※自主防災組織による研修会の状況写真

- 【平成30年度の主な取組み予定】
- 市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部(上限50万円)を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を図る。
- 土嚢など災害時に必要となる物資の備蓄を行う。



# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 弘前市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ 防災拠点としてはるか夢球場の整備を完了
- ・ 水防資機材等の防災拠点や指定避難所への配備
- ・ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充（浸水想定0.5m以上1.0m未満の指定緊急避難場所4箇所看板を設置）
- ・ 青森河川国道事務所による浸水想定区域及び浸水継続時間等の発表を受け、新たなハザードマップの作成を検討。
- ・ タイムラインに基づいた台風への対応
- ・ 出水期に備え、土のう4,000個を作成
- ・ 小中学校を対象とした防災教育の実施
- ・ 出前講座の実施



はるか夢球場  
(3塁側防災用照明)



はるか夢球場3階防災  
倉庫内（食糧配備後）

## 【平成30年度の主な実施内容】

- ・ 平成30年度は浸水想定0.5m以上1.0m未満の避難場所3箇所に看板を設置予定
- ・ はるか夢球場へ水防資機材等の配備を継続
- ・ 県管理河川の浸水想定発表後に新たなハザードマップの作成
- ・ 市町村の枠を超えた広域避難を考慮し、近隣の市町村との連携を強化
- ・ 地震、水害を想定した市の総合防災訓練を実施
- ・ 緊急指定避難場所、指定避難所の広報誌への掲載
- ・ Jアラート新型受信機を導入



指定緊急避難場所の設置看板  
(※平成29年度設置)



弘前市総合防災訓練（※平成29年度）

# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

### ○水防資機材の配備

- ・水防活動を支援するため、排水ポンプ1台、発電機1台を購入



### ○青森市総合防災訓練の実施（平成29年10月14日）

- ・平成29年3月に改訂した「洪水ハザードマップ」を活用し、浪岡川の水位上昇に伴う避難指示発令を想定した訓練を実施
- ・浪岡川の浸水想定区域に属する町内会を対象に、水害への備えに関する説明を実施
- ・水防団員による土のう積み訓練を実施、土のうを常備



## 【平成30年度の主な取組み予定】

### ○防災活動拠点施設とバックアップ施設の機能強化

- ・中学校を防災活動拠点施設のバックアップ施設に新たに位置付け、備蓄物資を配備

#### 【浪岡地区の設置状況】

防災活動拠点施設：6施設（小学校6）

バックアップ施設：2施設（公民館1・中学校1）

- ・平成28年度からアレルギー対応の備蓄品を順次配備
- ・高齢者や乳児のための飲料水を防災活動拠点施設等へ備蓄
- ・特設公衆の電話回線を敷設した防災活動拠点施設等へ電話機の整備



### ○要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

- ・避難計画未作成施設に対する作成・訓練実施に向けたフォローアップを継続実施

### ○広域避難計画の作成に向けた取組

- ・各自治体の枠を超えた広域避難のため、近隣市町村との情報交換を継続実施

# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

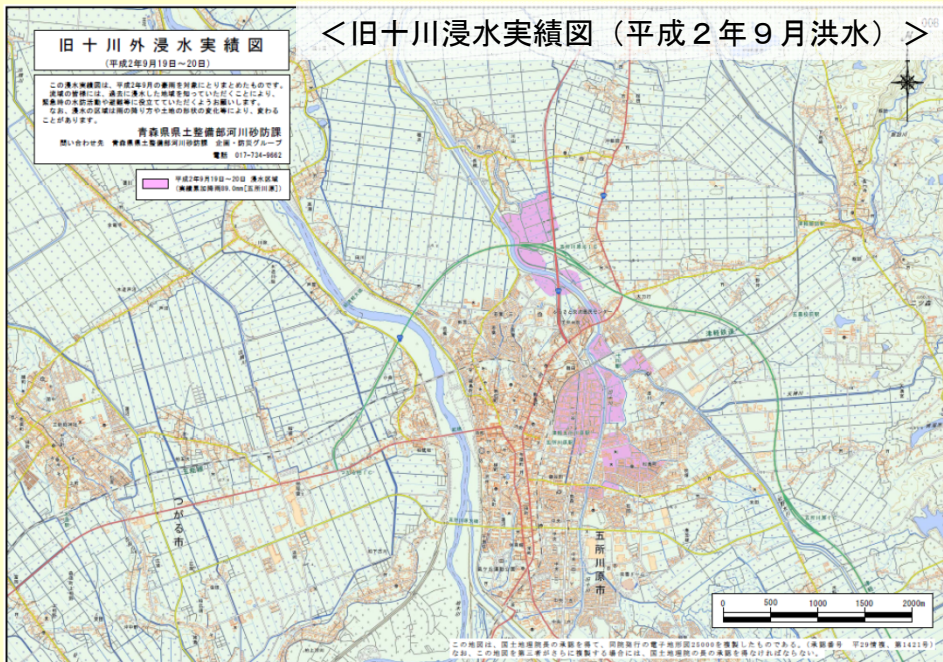
## 【平成29年度の主な実施内容】

### ○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- ・十川及び浪岡川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域、浸水継続時間等について検討
- ・平成30年度の公表を予定

### ○浸水実績図の作成、公表

- ・洪水被害に対するリスクを地域住民に周知するため、岩木川水系については、過去の11洪水を対象とし痕跡調査結果を基に作成し、県ホームページで公表



(公表ページアドレス)

[http://www.pref.aomori.lg.jp/life/bosai/shinsui\\_jisseki.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/life/bosai/shinsui_jisseki.html)

### ○ホットラインの構築及び運用

- ・河川管理者（県）から市長村長へ直接、河川水位の状況等を的確かつ確実に提供する体制を構築
- ・平成29年7月の梅雨前線豪雨では、金木川において避難判断水位を超過。このため、ホットラインを実施。この後、五所川原市により避難勧告が発令された。

### ○重要水防箇所合同巡視

- ・飯詰川及び金木川において、水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等により、洪水に対しリスクの高い箇所を合同で巡視



### ○出前トークの実施

- ・水害に関する知識の向上と心構えの醸成のため出前トークを実施

五所川原市4町内会を対象  
(平成29年9月3日 コミュニティセンター栄)



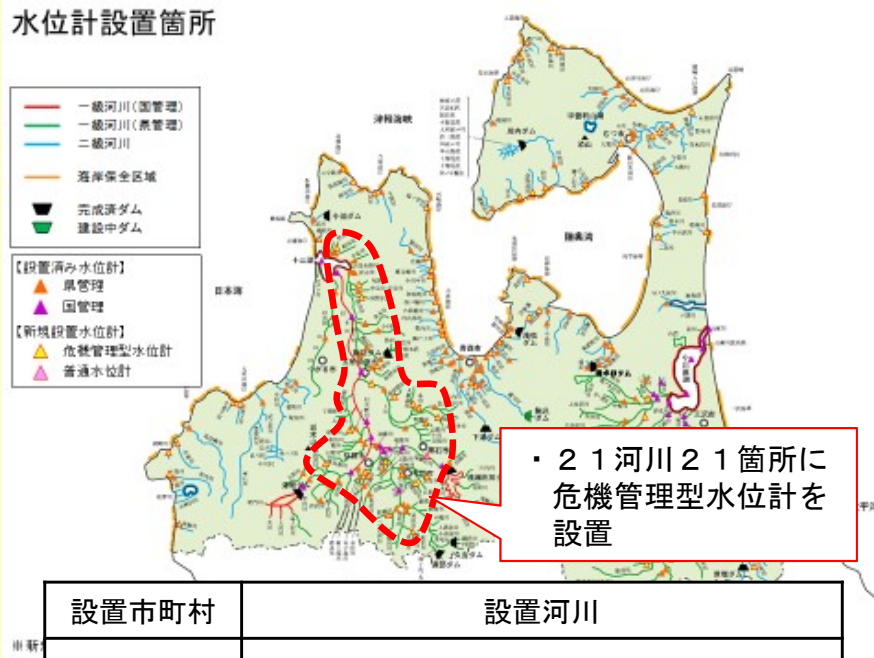
# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成30年度の主な実施内容】

### ○危機管理型水位計等の設置

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、十川及び土淵川等、県管理21河川21箇所に危機管理型水位計を設置

水位計設置箇所



設置市町村	設置河川
五所川原市	山王川、桂川、天神川、十川、前田野目川
弘前市	前范川、土淵川、寺沢川、腰巻川、蔵助沢川
青森市	大釈迦川、赤川、正平津川、本郷川
平川市	六羽川、枇杷田川、浅井川
中泊町	尾別川、宮野沢川
大鰐町	折紙川、島田川



写真上：むつ市との  
検討会の様子  
(H30.3.27撮影)

写真下：五所川原市との  
検討会の様子  
(H30.3.22撮影)

○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- ・県管理区間においても、避難勧告の発令に着目したタイムラインを作成、公表予定



### ○緊急排水計画の策定に着手

- ・氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手
- ・浸水継続時間の短縮により、氾濫被害軽減、緊急輸送路の早期確保及び被災地の早期復旧等が図られる

国土交通省ポンプ車



民間所有ポンプ



# 防災危機管理課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

## 【平成29年度の主な実施内容】

### ○防災教育や防災知識の普及

- ・青森市、八戸市などで防災全般に関する出前講座を計16回開催



### ○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・平成30年3月13日に弘前市内、19日に八戸市内で開催された減災対策協議会勉強会において、構成員に対して広域避難計画に係る講演を実施

## 【平成30年度の主な取組み予定】

### ○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、要望に応じて出前講座を開催
- ・今年度、県内全世帯に配布する「青森県防災ハンドブック」を用いた普及啓発



### ○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・市町村の広域避難計画の作成支援（指導・助言、市町村間の調整等）



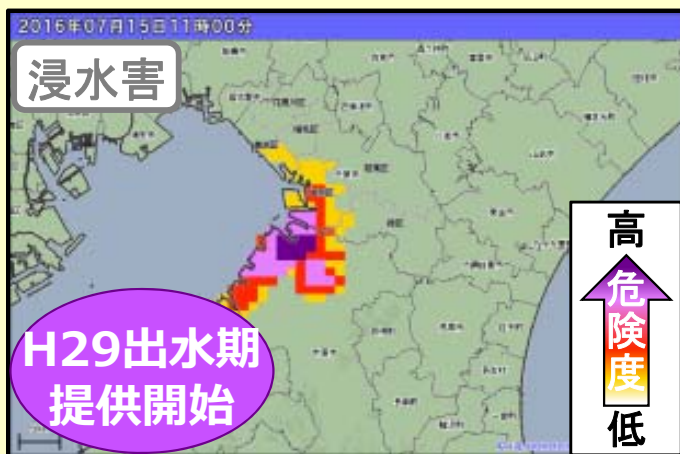
# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

## 青森地方気象台 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【平成29年度の主な実施内容】

- ・大雨警報（浸水害）洪水警報の発表基準を変更
- ・市町村内のどこで危険度高まっているか、確認できる危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供

気象庁HPで提供

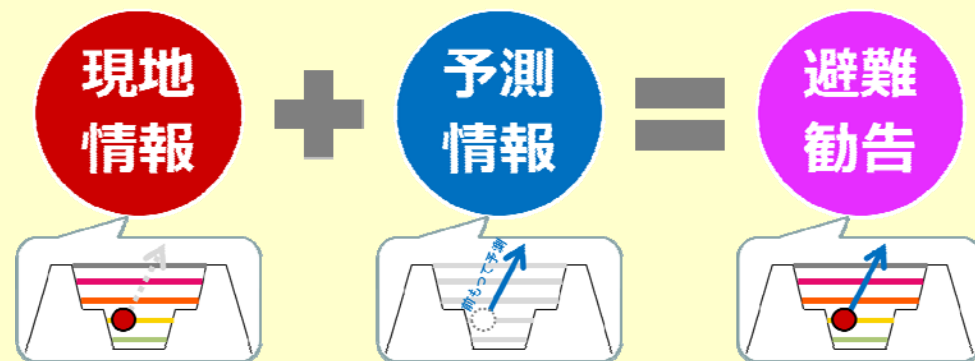


「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」も気象庁HPで提供

### 【平成30年度の主な取組み予定】

平成29年から警報等が発表されたときに、実際に危険度が高まる時間帯と場所を把握できる情報の提供を開始。今後は、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発に努めていく。

市町村長の避難勧告  
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒（警報級） 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意（注意報級） 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

## 青森河川国道事務所 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【平成29年度の主な実施内容】

- ・ わかりやすい洪水予報文への改良
- ・ 指定避難地区を越えた避難計画の策定に向けた勉強会の開催

#### わかりやすい洪水予報文への改良

岩木川氾濫注意情報

岩木川	洪水	予報	第 号
注意	年月日	時	分
青森河川国道事務所 青森地方支隊 共同発表			

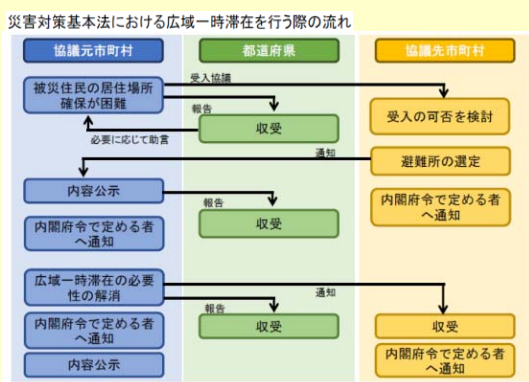
(注) 現在、雨は小降りになりました。

流域	注意水位
岩木川流域	

#### 指定避難地区を越えた避難計画の策定に向けた勉強会の開催



H30. 3. 13



### 【平成30年度の主な取組み予定】

- ・ 小学生を対象とした防災教育の実施



洪水を防ぐために、国土交通省では、さまざまなことを行っています。

洪水がおきたらどうすればいいの？！(その5)

・ 川に流されてしまうおそれがあるような時のことを考えると、一人ではなく家族や知り合いの人といっしょにひなみましょう。

・ 荷物がたくさんあると、にげおくれることがあるかもしれません。荷物は少なめにし、服などは動きやすく、目立つ色のものにしましょう。

### ・ 洪水情報のプッシュ型配信



#### 氾濫が発生した場合の浸水想定地区

# 岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

## 岩木川ダム統合管理事務所 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

### 【平成29年度の主な実施内容】

- ダムからの放流情報について「放流通報連絡会」の機会を活用し、岩木川下流端の市町村まで放流情報等を共有できるよう、説明会を実施。



放流通報連絡会の開催状況（6月実施）

- 防災教育の一環として流域市町村の小学校からの社会科見学等の機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明。



浅瀬石川ダムでの実施状況（7月）



津軽ダムでの実施状況（10月）

### 【平成30年度の主な取組み予定】

- 小・中学生を対象に、出前講座等を活用してダムに関する防災教育を実施する。

#### 実施案



- 岩木川における洪水の歴史など、防災に関する内容について出前講座を実施。

